

神付有機農業教室

このたび神付ふるさと村で、神付有機農業教室」を、兵庫県の後援をいただいて4月よりはじめることになりました。

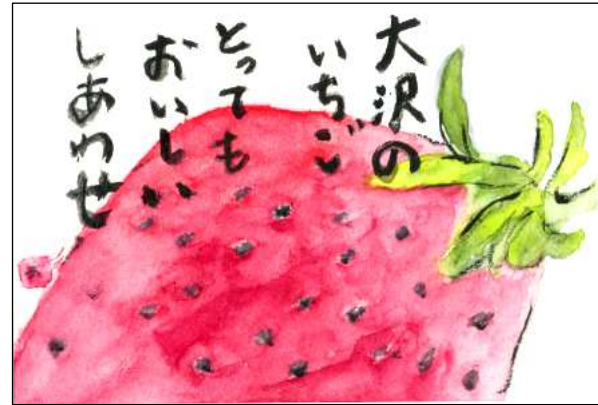
最近、安心安全な農作物を作ろうと有機農業に取り組む人が増えています。ここではこうした有機農業の理論と野菜作りの技術を学んでいただくための教室です。教えていただくのは神戸大学農学部名誉教授保田茂先生で、化学肥料や農薬を使わず自分で長年に亘って研究、開発した「保田ぼかし肥料」のみで野菜作りをするやり方です。その外に講師として環境創造型農業を推奨している兵庫県参事の西村いつき氏（農学博士）です。

チラシを大沢連絡所にもおいていますが、詳しくは 神付ふるさと村 078-954-1901（お尋ね下さい。岩田恪夫）



ほろりおぞう

いかなごを炊く匂いで、春を感じる。生姜のきいたほっこり春の味。昔、母の炊いたくぎ煮がお弁当によく入っていた。大好きないかなごのくぎ煮。私の炊くいかなごの味は母の味だ。今、娘の好物でお弁当に入れると喜ぶ。母・私・娘・・・味が繋ぐ親子の和。さあことしも頑張って炊いてみよう!!



絵：前田明子

光山だより

3月号 発行

大沢地域のまちづくり協議会 広報部

http://www.ozo.jp

おいしい大沢プロジェクト

去る3月3日、おいしい大沢プロジェクトではコーデインーターの 株 クアドロさんに声をかけていただき、サンケイ新聞社 神戸総局長・タクシー会社社長・出版社社長・パティシエ・料理教室の主宰者・地域情報紙の編集長・アナウンサーなど情報発信力のある方達20名を招いていちご農園で旬のいちご狩りを楽しんでいた

できました。その後、おぞうカフェ901へ移動していただき5種類の苺 牽姫・やよい姫・紅ほっぺ・おいCベリー・紅クインーン」の食べ比べをしてそれぞれの個性をわかってもらえたのではないかと思います。また、藤本さんにパネルを使っていちごの育て方や苦労話、大沢のいちごの魅力などについて説明を

していただきました。最後は今回のおぞうカフェ901でメニューに加えられることになった、大沢いちごのクリームチーズプリンと『いちごのタルト』大沢のいちごをふんだんに使って作られた新しいスイーツを試食、前田様よりスイーツの説明をしていただきました。



参加された皆様には、大沢の自然、いちごなど大変興味を持っていただけた様子で、大沢で採れる果物や野菜・米の情報もお伝えして大沢の魅力のいい情報発信ができた一日でした。

稲生 芳子

俳句

崖見よぐ此処よこよと落の臺 昭
人住まぬ庭に白梅まさかりに 秀子
草餅の黄な粉こぼせし青畳 三恵子
本蓮のつばみふくらむ昨日 今日 ちが
流し雛小舟にゆられ彼の間に たみよ
生きているこの身が宝路のとう 澄子
草餅が人気や村の日曜日 正子
さくら餅たべて少女に戻る母 純子
水仙花なほも母への思慕つり 弘枝

東播用土地改良区総代として、大沢町からは 次の2名の方が当選されました。

Table with columns for name (池上 龍夫, 福井 栄幸), location (上大沢, 市原), and term (任期 4年).

狂犬病予防集合注射の日程

Table with columns for date (4月17日), time, and location (旧大沢公民館, 大沢連絡所, 上大沢農業倉庫, 善入農業倉庫).



行事予定

- 4/1 やまびこ会定例会
4/10 ヨガ教室 (ちぼくと)
4/11 大沢小・中学校入学式
4/12 新一年生お祝い式
4/12 婦人会定例役員会
4/13 学校園プロジェクト
4/14 ふれあい昼食会
4/15 交流プロジェクト会議

編集後記

カラフルにお届けしてまいりました光山だより。皆様にご覧いただきありがとうございます。経費節約の必要に迫られて新しい紙面づくりを考えてまいります。引き続きご支援をお願いいたします。

上大沢里づくり協議会の取組み

活動はとんど祭り等行事・善入展望公園と敷設道と竹林整備を行っています。四年前から里づくり計画の見直しに入り、10年後の上大沢づくりに向けて市・ヘンサル派遣も依頼し 新・上大沢里づくり計画」がほぼまとまりました。

今後、市の 大と自然の共生ゾーン条例審議会」を経て、市の支援も得ながら推進する予定です。テーマは「農業振興」「生活環境整備」「土地利用計画」 景観保全」 地域活性化」を主とし、昨年からは四回、四十人余のメンバーでグループ毎に熱心に協議されました。内容は上大沢の立地や地域資源に自信をもち、アイターン・ユーターン・上大沢出身者等の地域活動参加を促進し 大が集う上大沢」を目指す事としました。

今後、「二人一人ができる事」 地域ぐるみで支える事」 行政にお願いする事」を明確にし、未経験分野も含め実行の段階へ入ります。10年後には団塊の世代が後期高齢者となり少子高齢化が今より進む

と考えられます。農業振興では集落営農組織の維持発展・農産物の特産化と付加価値向上・援農と就農者育成・有害鳥獣対策強化他、市の 食の都・神戸構想」とも連携を推進。生活環境整備では今後増加する高齢者の生活利便性改善・地域付合い改善・地域への愛着意識の向上。土地利用では、沿道サービスタ誘致・里づくり拠点の整備、分家や子孫の世帯分離住宅や親族・知人を含めた 新・田園コミュニティ規制緩和」の導入。景観保全では従来の活動に加え沿道ぞいの美化・危険カ所の洗出し改善・ゴミのポイ捨てや不法投棄撲滅を追加。地域活性化では若者が住みやすい町づくり・秋祭り等地域の若者が主体で活動できる場の提供、空家活用や都市との交流による市の 神戸里山暮らし」との連携等、種々の活動が設定されました。皆様のご理解とご指導・ご協力を宜しくお願い致します。 榎本茂木

お知らせ

大沢出身戦没者追悼慰霊祭
平成28年4月23日(土)

やすらぎの丘 10:30

